

背景には、咲き始めた菜の花と風車



見事なお点前を披露



岐阜県出身の加藤拓三さん
地元では、たぐちゃんのお節で親しまれているとのこと

この日は、咲き始めた菜の花を背景に『第7回東京国際和太鼓コンテスト2008大太鼓部門』で最優秀賞に輝いた加藤拓三さんが和太鼓演奏を披露。畑一面に鳴り響いた太鼓の音色に、訪れた人は聴き入っていました。また、町内の茶道教室に通う子どもたちによる野だても行われ、訪れた人は菜の花を眺めながらお茶を味わっていました。

太鼓の音色、菜の花畑に響く
菜の花見会開催

下水道ってなんだろっ！
小学生が下水道を学ぶ



下水道の仕組み
わかったかな？



下水道とは何かを学ぼうと町内の小学生10人が5月12日、江差町にある「江差・上ノ国下水道管理センター」を訪れました。これは、教育委員会が主催する「よってけクラブ」の一環として行われたもので、同センターを管理する化工機ブランド環境エンジニア株式会社の松下さんがビデオを見せながら下水道の仕組みを説明。参加した児童は「汚水をキレイにしているの目は見えない小さな生物なんだ」と知り驚いた様子を浮かべていました。

稚ナマコ2万6千匹
町内の全漁港に放流！

稚ナマコを放流している様子



ひやま漁協上ノ国支所ナマコ部会（花田英一会長）主催による「ナマコ種苗放流式」が5月17日、上ノ国漁港で行われました。放流式には、漁業関係者約30人が出席し、同部会の花田会長から「水揚げの減少を抑え、増やしていこう」との抱負が述べられた後、栽培漁業総合センターで約9か月間中間育成された体長約3〜6センチの稚ナマコ2万6千匹を各漁港に放流しました。放流された稚ナマコは、3年後には、親ナマコとなり収量増加が期待されます。

笹田さん宅の
パイナップル見事に実る！



南国の植物であるパイナップルが、笹田昇さん（字勝山）宅で大きく実をつけました。このパイナップルは、笹田さんが「食べるのに切り落とした葉がもったいない」と平成19年8月から自宅の鉢で育てたもので、今年の1月ころから実が大きく成長し始めたそうです。笹田さんは、冬場の温度管理と葉が乾燥しないように気をつけたそうで、「早く自分の育てたパイナップルを食べてみたい」と心待ちにした様子で話していました。